



発行者 楽しい株式会社
 住所 北九州市若松区向洋町10番1
 北九州エコタウン実証研究エリア内
 Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303
 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

ハチドリ通心(信)
 2010年11月号

学校給食での取り組みのご紹介

楽しい株式会社のメリーズシステムにはホテル、飲食店、ゴルフ場とあらゆる業種のお客様にご参加いただいておりますが、最近では自治体、特に学校給食でのご参加が増えてきております。そこで、今月号では今年度からご参加いただいている給食センター、学校の取り組みをご紹介させていただきます。

北九州市の小、中学校での取り組み

福岡県北九州市では現在、段階的に中学校給食をスタートさせ、平成23年4月には中学校全体で完全給食になります。中学校の給食は、全て近くの小学校で調理します。また、9月からモデル校として2校で生ごみのたい肥リサイクルが開始されました。弊社の生ごみ処理装置も則松小学校で稼働しています。小学校に設置ということで児童のいたずら防止など安全面の配慮も施されています。

生ごみ処理装置「命名：はらへっ太」は1日に最大100kgの生ごみを処理可能です。則松小学校の給食490食と則松中学校の2、3年生分の370食、合計860食分の生ごみを処理しています。

学期ごとに製造したたい肥は、小学校の花壇などに使用します。



北九州市立則松小学校



はらへっ太 (平成22年9月設置)

那珂川町の小学校での取り組み

福岡県筑紫郡那珂川町では、生ごみの減量化と、資源の循環利用を推進し、子供たちの環境教育に役立つ「学校給食生ごみ堆肥化モデル事業」という事で弊社の生ごみ処理装置を利用して取り組みを始めました。

平成22年度はモデル校として、南畑小学校、片縄小学校、安徳南小学校の3校の野菜残渣のみがリサイクルされます。各校から排出された野菜残渣は、町のリサイクル施設「エコピア・なかがわ」に集められ、施設内に設置された弊社生ごみ処理装置「命名：スクール・まんま君」で、処理しています。

処理された野菜残渣は、1学期ごとに取り出し、北九州エコタウン内のリサイクルセンターにてたい肥化され、学校の花壇等で使われます。



エコピア・なかがわ



スクール・まんま君 (平成22年8月設置)

中津市の小、中学校での取り組み

大分県中津市では調理した残渣、児童の食べ残しを毎日、給食センター内に設置された生ごみ処理装置に投入し減量しています。夏休み、冬休み、春休みに生ごみ処理装置から1次発酵物を抜き出し、北九州エコタウン内のリサイクルセンターに運び約2ヶ月かけてたい肥を製造しています。



なつくん1号 (平成22年5月設置)
 本耶馬溪共同調理場



なつくん2号 (平成22年6月設置)
 山国共同調理場

出来上がったたい肥は、給食センターに食材を納入されている中津市内の農家様や学校にお返しして使用いただき、出来上がった農作物を給食の食材として使用していただきます。



「緑のカーテン」で夏野菜カレー

中津市ではすべての小中学校と幼稚園の窓辺で、室内の温度を下げる効果のある「緑のカーテン」としてニガウリやアサガオなどを栽培しています。中津市立城井小学校では4年生が中心になって世話をしてきた約2キロのニガウリを、本耶馬溪共同調理場で調理し、周辺の6校の給食に使われました。栄養士さんがニガウリに含まれる栄養素について説明。ニガウリは苦手と言っていた児童も、「苦くない」「おいしい」と笑顔で食べていました。今年の夏には間に合いませんでしたが、来年は弊社生ごみ処理装置でリサイクルした、たい肥を使用していただく予定です。



中津市立上津小学校



中津市立城井小学校



これまでに学校給食でご利用いただいているお客様

- ・嬉野市塩田学校給食センター (佐賀県嬉野市) 1ヶ所
- ・昭島市教育委員会 (東京都昭島市) 2ヶ所
- ・柏崎市教育委員会 (新潟県柏崎市) 4ヶ所

* ハチドリ通心は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。

URL: www.fun-c.jp/ をご覧ください。(松永が担当しました。)